

デジタル化時代の“人創り” セミナーご案内 ～ 10年先も強い企業であり続けるために～

急速に進むデジタル化時代に企業は何をすべきでしょうか？ 5年後あるいは10年後も強い企業であり続けるためには、経営陣と現場部門が一体となって変わらなければなりません。そのためには、いくつかの要素がありますが、その中でも重要な鍵を握るのは“人創り”にあります。

各界の著名な方々をお招きし、最新のデジタルトランスフォーメーションの動向とデジタル化時代に勝ち残るための取り組み事例などを経営者目線でご紹介するセミナーを開催いたします。

ご多用の折とは存じますが、皆様からのお申し込みを心よりお待ち申し上げます。

富士通株式会社

株式会社富士通ラーニングメディア

■ 開催概要

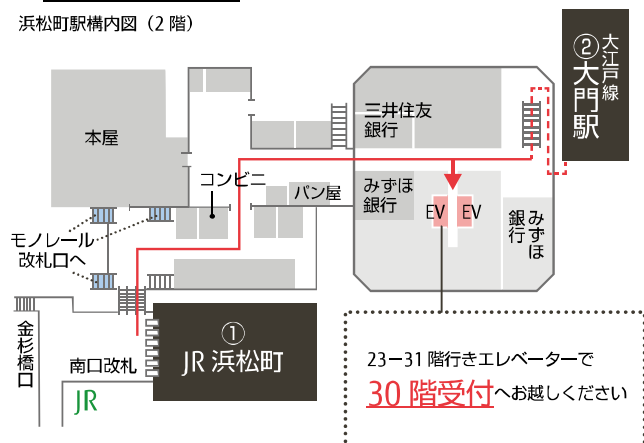
- ・ 開催日時： 2019年3月22日（金） 14時00分～17時00分（受付開始：13時30分）
- ・ 開催場所： 富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター（東京・浜松町）
- ・ 対 象： 自社のデジタルトランスフォーメーションを推進する経営層および部門推進者
- ・ 定 員： 100名（先着順・事前申込制）
- ・ 参 加 費： 無料
- ・ 主 催： 富士通株式会社、株式会社富士通ラーニングメディア

プログラム詳細は裏面をご覧ください ▶▶▶

■ 開催会場

■ アクセスマップ

浜松町駅構内図（2階）



■ 住所

富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター
東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル30階

- ・ JR山手線・京浜東北線/東京モノレール「浜松町駅」より2階コンコースで直結
東京駅から6分、羽田空港から22分
- ・ 都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門駅」より地下1階で直結（B3出口）浅草から15分、新宿から15分

■ プログラム

※プログラムは変更になる場合があります。

時間	セッション
14時00分～14時05分	ご挨拶 富士通株式会社
14時05分～14時55分	デジタルトランスフォーメーション（DX）について ～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～ 経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長 中野 剛志 氏
14時55分～15時05分	休憩
15時05分～16時00分	破壊にそなえる人と組織の在り方 アナリストによる解説
16時00分～16時35分	実践するために必要なフォーカスシフト 株式会社富士通総研 ビジネスデザイングループ マネジングコンサルタント 佐々木 哲也
16時35分～17時00分	企業でのDXを推進する中核人材を育成する 「FUJITSU Digital Business College」2019年（第三期）コースご紹介 株式会社富士通ラーニングメディア 取締役 兼 執行役員 古川 勝久

■ 講演者のご紹介



経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長
中野 剛志 氏

1996年東京大学教養学部教養学科（国際関係論）卒業。
2001年英国エディンバラ大学大学院 優等修士号取得（政治思想）。
2005年英国エディンバラ大学大学院 博士号取得（政治思想）。
1996年通商産業省（当時）入省後、（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)総務企画部主幹、
特許庁総務部総務課制度審議室長等を経て、2017年より現職。



株式会社富士通総研
マネジングコンサルタント 佐々木 哲也

2003年富士通総研入社。
企業におけるビジネスモデルデザイン、イノベーション推進組織開発を中心に、昨今では地方自治体や公
共団体なども含めセクターを越えたオープンイノベーションのプロデュースを手掛ける。
著書に「0から1をつくる まだないビジネスモデルの描き方」（共著）、「徹底図解 IoTビジネスがよくわ
かる本」（共著）

■ お申し込み方法（以下URLよりお申込下さい）

<http://www.fujitsu.com/jp/group/flm/resources/news/events/2019/0322.html>

- ※ お申し込み締切日：開催日前日まで。但し、定員になり次第締め切らせていただきます。
- ※ お申込み完了後、申込み完了メールが送信されますので、ご確認下さい。
- ※ 同業者の方のお申し込みはお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。



お問い合わせ

プロモーション推進部

03-6710-1490

受付時間 9:00～11:30、12:30～17:30（土・日・祝祭日を除く）

株式会社富士通ラーニングメディア

〒108-0075 東京都港区港南2-13-34 NSS-IIビル

<http://www.fujitsu.com/jp/group/flm/>